

小学校生活に別れ

町内小学校で卒業式

3月25日、町内小学校において、卒業式が行われました。

平成24年度の町内小学校の卒業生は、宮原小47人(男24人・女23人)、竜北小25人(男16人・女9人)、竜北西部小27人(男12人・女15人)の計99人でした。

宮原小学校では、厳かな雰囲気の中、先生から卒業生1人ひとりの名前が呼ばれると、卒業生は大きな返事をし、卒業証書を受け取っていました。

式中、卒業生からは、小学校生活の思い出を振り返り、涙する姿も見られましたが、先生、在校生、保護者に見守られ、中学生生活への大きな希望を胸に母校を巣立っていきました。



▲6年間ありがとうございました

長年の功労に感謝

社会福祉功労者などに知事表彰

3月26日、熊本県庁において、熊本県社会福祉功労者および団体知事表彰式が行われ、社会福祉の向上に功績のあった個人、団体に対し、県知事から表彰状が授与されました。

氷川町からは、民生・児童委員、主任児童委員として長年活動されている岩崎紘美さん(椿)と社会福祉施設における切り絵指導などのボランティア活動をされている磯本康博さん(町)が表彰を受けられました。

被表彰者を代表して、岩崎さんは「この栄誉を励みとし、光栄を汚すことなく、さらに地域福祉のために貢献してまいりたいと思います。」と謝辞を述べられました。



▲被表彰者を代表して謝辞を述べられる岩崎紘美さん

一年間の学習を終えて

ふれあい大学開講式・大学祭

3月28日、氷川町文化センターにおいて、平成24年度ふれあい大学開講式・大学祭が開催されました。

85歳表彰では16人、大学無欠席表彰では、43人が表彰を受けました。

文集『年輪』発表では、藤坂史人さん(島地)から思いをつづった発表があり、続いて2班代表の村内一誠さん(西上宮)が「ふれあい大学で学習したことを地域や家庭生活の中で大いに役立てていきたい。」と謝辞を述べられました。

午後からの「大学祭」では、歌踊りなどの披露があり、笑顔がはじむ雰囲気の中、楽しい催しとなりました。



▲名演技の「水戸黄門」でした

恒久の平和を願って

氷川町戦没者追悼式

4月4日、氷川町文化センターにおいて、氷川町戦没者追悼式が行われ、遺族を代表して、中川洋子さん(上鹿島)が献灯を行い、全員で黙とうを捧げました。

続いて、氷川町遺族連合会を代表して浜田洋さん(西網道)が「悲惨な戦争の教訓を風化させることなく、次の世代に命や平和の大切さを語り継いでいかなければならない。悲惨な戦争の苦悩を体験した私たち戦没者遺族はこの悲しい歴史を2度と繰り返さないことを固く誓います。」と追悼の言葉を述べられると、式の最後に、遺族は献花を行い、戦没者に祈りを捧げました。



▲尊い命の冥福を祈って

交流の花開いて

吉本さくら祭り

4月7日、吉本公民館において、第8回吉本さくら祭りが行われました。これは、吉本地区づくり委員会が主催したもので、普段会う機会の少ない地区住民の交流の機会となることを目的としています。

会場では、吉野保育園の園児によるかわいらしい「くまモン体操」などを皮切りに、カラオケ大会やビンゴなど、子どもからお年寄りまでが楽しめる催しが準備され、参加者は自慢の歌声を披露していました。

少し肌寒さを感じる日でしたが、熱のこもった歌声に会場は大きな盛り上がりを見せていました。



▲歌声に聞き惚れました

期待に胸を膨らませ

町内中学校で入学式

4月8日、町内中学校において、入学式が行われました。

今年度の新入生は、竜北中52人、氷川中47人の計99人です。

氷川中学校では、真新しい制服に身を包んだ新入生が期待と不安の表情を見せる中、保護者や在校生の拍手に迎えられ入場しました。

新入生を代表して山本由佳さん(八代市岡町)は「氷川中学校で色々なことを学び、挑戦し、成長していきたい」と思っています。伝統ある氷川中学校の生徒として恥じないよう友達と協力し、助け合いながら立派な中学生になることを誓います。」と力強く決意の言葉を述べました。



▲新入生代表誓いの言葉を述べられる山本由佳さん

元気いっぱい笑顔満開

町内小学校で入学式

4月9日、町内小学校において、入学式が行われました。

今年度の新入生は、竜北西部小38人、竜北東小30人、宮原小31人の計99人です。

宮原小学校では、木久山佳子校長が「みなさんが入学して来てくれるのをみんな楽しんで待っていました。今日から、みなさんはこの大きくて広くて立派な宮原小学校でお友達と一緒に勉強したりします。自分にできることをしっかりとやる宮原小学校の子供になってください。」と述べられました。新入生はお話しもしっかり聞くことができ、名前を呼ばれると元気な声で返事をすることができました。



▲ぴかぴかの一年生

人権擁護活動に尽力

法務大臣感謝状贈呈伝達式

4月9日、役場庁議室において、法務大臣感謝状贈呈伝達式が行われ、3月末をもって人権擁護委員を退任された島田眞由美さん(桜ヶ丘)に法務大臣からの感謝状が贈られました。島田さんは平成19年に人権擁護委員の委嘱を受け、2期6年に渡り、教育者などの幅広い経歴を活かされ、人権相談や人権啓発活動に取り組まれてきました。

その功績をたたえられた島田さんは「人権擁護委員は退任しますが、子どもたちと関わりを持つので、今後も連携をとり、支えたいと思います。」と喜びの表情で話されました。



▲島田眞由美さん(右から2人目)